

PICCOLO PIANOFORTE MANUFACTURED BY GEORGE PEACHEY

ANTIQUE PIANO

アンティークピアノコンサート CONCERT

修復により、

かつての姿を取り戻した

アンティークピアノ。



150年以上という

歴史あるピアノが生み出す、

味わい深い音色をお楽しみください。

2026. 1.28 WED 12:00~

入場無料 / 予約不要

各務原市役所 高層棟 2 階 (各務原市那加桜町 1-69)

出 演

加藤 紗耶香 KATO Sayaka

演奏予定曲

J. シュトラウスⅡ世：ワルツ「春の声」Op.410

チャイコフスキー：「四季」12 の性格的描写より「2月 謝肉祭」

ショパン：ワルツ第 14 番 遺作 KK.IVa / 15

シューマン／リスト：「献呈」S.566 R.253

加藤 紗耶香編曲：山田 耕筰 名曲メドレー

※曲目は変更になる場合がございます。

【主催】各務原市 【後援】各務原市教育委員会 【運営】公益財団法人かかみがはら未来文化財団



PICCOLO PIANOFORTE MANUFACTURED BY GEORGE PEACHEY

ANTIQUEPIANO

アンティークピアノコンサート

CONCERT



ジョージ・ピーチャー社製

アップライトピアノ (19世紀)

英国ロンドンのピアノメーカー・ジョージ・ピーチャー社 (George Peachey) 製アップライトピアノです。製造されたのは 1828～66 年、日本では幕末にあたる時代と考えられています。

このピアノは令和元年、那加吾妻町の家屋解体時に発見されました。ピアノを愛用していたのは、昭和 23 年 (1948) に那加中学校の校歌を作詞した故・宇野濤子さん。英国から宇野家にピアノが渡った経緯は不明ですが、宇野家の日記に、戦前に住んでいた東京でピアノを購入した記録があり、一家の疎開とともにピアノが那加へ移ってきた可能性があります。

大戦中の空襲を免れたピアノは、発見後、宇野家から井戸輝雄様に譲られ、井戸様のご好意により専門の工房で修復されました。そして甦った幕末のピアノを「150 年以上の時を経た音色を市民の皆さんに届けたい」との思いから、市にご寄附いただきました。

ピアノ 加藤 紗耶香 かとう さやか

2 歳からピアノを始める。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科 (ピアノ) 首席卒業、東京音楽大学器楽専攻 (ピアノ演奏家コース) 卒業、東京音楽大学大学院器楽専攻鍵盤楽器研究領域 (伴奏) 修了。

国内外多数のコンクールでの入賞歴を持ち、リサイタルや演奏会、音楽祭へも数多く出演。本年秋以降、ソロリサイタルシリーズの開催が予定されている。

現在、ソロ・声楽や合唱、器楽の伴奏・室内楽ピアニスト、コレペティートル、オーケストラ内の鍵盤奏者等、多岐に渡り精力的に活動する傍ら、東京と栃木を中心に後進の指導へもあたっている。

宇都宮短期大学・同附属高等学校音楽科及び宇都宮共和大学ピアノ非常勤講師。

PTNA (全日本ピアノ指導者協会) 指導者会員。ヴェルデ会会員。



お問い合わせ

公益財団法人かかみがはら未来文化財団

WEB | <https://www.kakamigahara-mirai.or.jp>

TEL | 058-372-7231



かかみがはら
未来文化財団
KAKAMIGAHARA MIRAI
CULTURE FOUNDATION

